

## Q. COC ってなに？ —川越の「地」と「知」の拠点へ Center of Community

A. 本学は、平成 25 年度に文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（大学 COC 事業）の拠点校として採択されました。「地域を志向した教育・研究・社会貢献」を進めていきます。学内の教育および研究体制を地域と連携する形で整備・充実させ、社会貢献活動型のプロジェクトを通して、「地域に貢献できる人材」を育成するとともに、地域と連携して継続的に活動できるネットワーク組織を作りあげていきます。

### Q. どんな能力が身に付きますか？

A. 例えば、働きかけ力や課題発見力など。通常の授業では重視されない能力が培われます。CPW 科目ではグループワークに重点が置かれています。まちおこしの活動経験は、就職活動でアピールポイントになることでしょう。

### Q. CPW ってなんですか？

A. CPW は Community Project Workshop の略で、COC 事業の全学カリキュラム講座として設置しています。

### Q. CPW の特色を教えてください

A. 通常の講義や企業の仕事では、課題は与えられるものですが、CPW は違います。「さて、私たちは何をしよう？」そこから出発していくのです。

### Q. CPW って具体的に何をやるのですか？

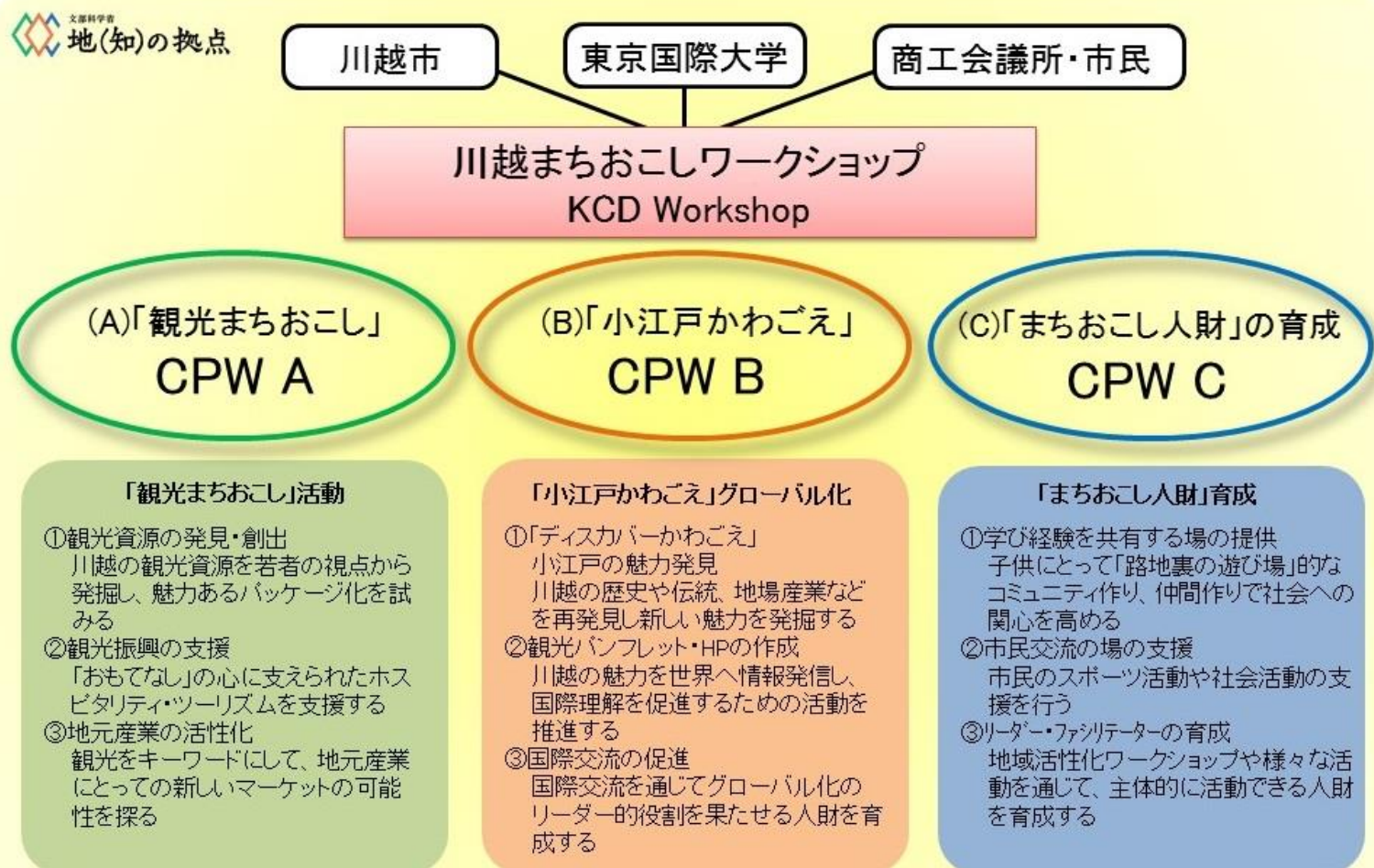
A. 川越市をフィールドとして、班に分かれ、グループ単位で活動します。グループワークを通して、課題を発見し、まだ見ぬ魅力、未来のカタチを探っていきます。

川越の「地」と「知」の拠点となるべく、川越市役所や商工会議所、地元企業や NPO、市民などと連携しながら、あなたのアイデアや企画と一緒に「小江戸 de まちおこし」しませんか。

### Q. CPW は何学部で学べますか？

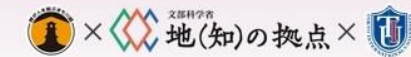
A. どの学部でも学べます。全学的な取り組みを行っており、他学部の学生との交流が多いことが特徴のひとつです。また、演習で研究に取り組んでいるゼミもあります。

## 埼玉県で唯一、文科省から COC 事業の指定を受けました！



# COCOEDO vol.1 ~ココエド~

COCOEDO  
Center of Community  
Tokyo International University



## 「小江戸（川越）まちおこし」

グローバル人材育成のための  
地域連携型教育研究拠点づくり



## TOPICS

- TIU×JTB 関東＝「！」
- 参加学生のコメント
- CPW 基礎 I 「ロールプレイングの紹介」
- COC ってなに？ Q&A
- 川越の新しいまちづくりを提案
- 埼玉県で唯一の大学 COC 事業



## JTB 連合講師陣による「まちおこし」の講義

CPW A : 観光振興・産業活性化

CPW B : ポスター・パンフレット・国際交流

CPW C : コミュニティデザイン・人材育成

CPW 基礎 I、II、III



## 講義紹介：「CPW 基礎 I」編

「**今**日はみんなでロールプレイングをします」

学生：「それ、ゲームですか？」

講師：「この講義の主役は皆さんです。これから内容を説明しますので、よく聴いて下さい」

学生：「はい」

講師：「これから班ごとに、皆さん一人ひとり、ある役についてもらいます。それぞれの立場で議論をしてみてください。テーマは、大学を誘致することになった町の話です」

NEXT : 次のページで実際の模擬授業を体験してみよう！

## Q. 大学誘致—もし、あなたが川越市の農家だったらどうしますか？



不動産：「わたくし、不動産会社の前と申します。本日はよろしく  
お願いいたします」

**一同**：「よろしくお願ひします」

不動産：「市議会議員さんは、しらくま国際大学の誘致に賛成とい  
うことでよろしいですか？」

**市議会議員**：「……あ、はい、そうですっ！」

不動産：「では続いて、校長先生。賛成派として、大学誘致はこの  
街にどんなメリットがあると考えていますか？」

**地元高校の校長**：「大学ができれば、街を学生が歩くようになるの  
で、ビジネスチャンスがあると思います！進学率も期待します」

不動産：「賛成派の商工会としてはいかがですか？」

**商工会青年部**：「はい、ぜひ誘致したいっすね〜」

不動産：「反対派の意見も伺いたいと思います。では、市民の方」

**市民A**：「中にはマナーの悪い学生がいるかもしれないので、ポイ  
捨てや騒音が気になりますね。汚い街にはなってほしくないです」  
不動産：「一という意見が出ましたが、市長としてそのあたり、何  
か対策はあるのですか？」

**市長**：「あ、清掃に力を入れたいな〜と……」

不動産：「市議会議員さん、清掃の予算は検討しているのですか？」

**市議会議員**：「今、前向きに検討しているところです」

不動産：「なるほど。では今度は、賛成派の市民の方に聞いてみま  
しょう。いかがですか」

**市民B**：「ボランティアに期待したいです。若い人の力を借りて、こ  
の街をいい街にしていってほしいですね」

不動産：「市民の皆さんありがとうございます。あ、反対派の農家さ  
んが話したいようです。どうぞっ」

**農家**：「もしかしたら、駅の近くの栄えているところは良い影響があ  
るかもしれないですけど、うちら農家には何の得もないですね」

不動産：「校長先生、われわれ不動産会社のためにも、ぜひ農家の方  
を説得していただけないですか」

**地元高校の校長**：「えっと、そう、ですねー。一人暮らしの若者が  
スーパーで野菜を買ってくれますよ」

**農家**：「最近の若者は、あんまり野菜を食べないんですよ。買って  
もカット野菜とか、コンビニのサラダとか」

**地元高校の校長**：「いえいえ、農家さんも、育てたキャベツとかレ  
タスを学食で食べてもらったりできるので、悪いことばかりじゃな  
いと思います」

**農家**：「あー、うち、野菜は小松菜しか作って  
ないんですよー」

**地元高校の校長**：「いや、でも！小松菜カレーとか！」

**一同**：（笑）

不動産：「そろそろ時間ですので、話し合いはここまでということで。  
本日はありがとうございました」

**一同**：「ありがとうございました！」

### 参加学生のコメント



商学部3年  
**安田 春菜 さん**

いきなり「君は農家で反対派ね」と言われ、どのよ  
うな部分に反対すればいいか、頭をフル回転させま  
した。フル回転させた結果出てきた野菜は小松菜でした(笑)この授業に参加  
してみて、一つ案を出すのにも、それを発表までに持って行くのにもすごく  
頭を使います。なんとか発表までこぎつけても本当にそれでよかったのかと  
考えます。それでも一つの成長だと考えると更に頭を使おうと思います。大  
好きな故郷川越のために何かをこの授業で生み出せたらと思っています。

### 参加学生のコメント



言語コミュニケーション学部3年  
**根岸 希 さん**

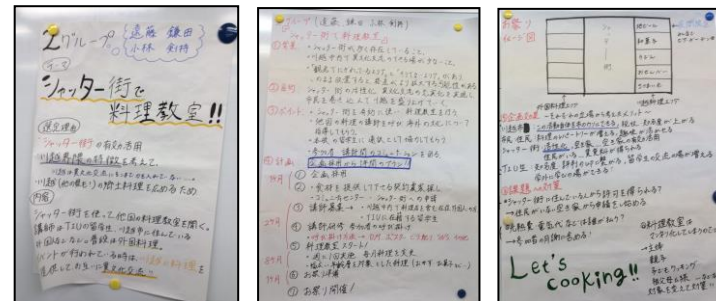
皆さんこんにちは！ロールプレイングでは農家さん  
と小松菜をめぐるって笑ってしまう地元高校の校長を  
担当しました。CPWは、学部・学年などは関係なく作られるグループの  
中で、個人が地域活性化について考えたことを自由に発言、話し合える場  
です。また、初めて知り合った人たちとのグループワークの中で自己主張  
や協調性についても学んでいける講義だと思います。

## Q. 川越市の資源を活かして、新しいまちづくりを提案しよう！

### CPW C：シャッター街で料理教室

- ・シャッター街を有効に使い、料理教室を行う。
- ・他国の料理の講師を呼び、海外の文化について指導  
してもらう。
- ・本校の留学生に通訳として協力してもらう。
- ・参加者・講師間のコミュニケーションを図る。

現在、プロジェクト進行中！



### CPW B：川越小江戸体験 街コン



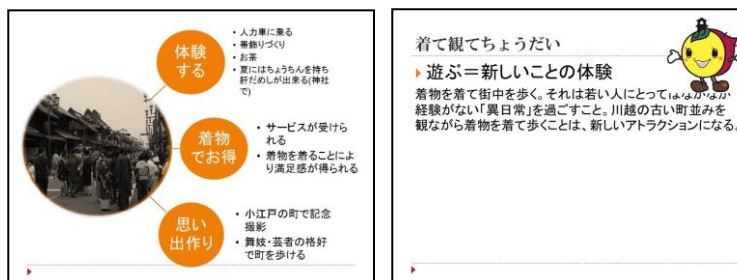
### 参加学生のコメント

言語コミュニケーション学部3年  
**塚越 理奈子 さん**

CPW基礎Iでは県外の市役所の方、川越市の観光課  
の方などのお話を聞くことができ、地域との協力や思  
想の上、様々な建物が建っていることを細かく教えて頂きました。  
「まちおこし」の大変さをこんなに身近に感じることは今までありませんで  
したが、今後、企業へ就職する時にも必要となるグループディスカッション  
を、「まちおこし」というテーマと同時に学べる機会が授業で討論できて毎  
週楽しく学んでいます。残りの授業も熱く議論を重ね、より良い川越をイメ  
ージしていきたいです。

### CPW A：着かざる小江戸

- ・若者たちに“着物の日”を通じて川越の新しい顔を  
知ってもらいたい。
- ・着物を着て街中を歩く、それは「異日常」の世界。
- ・川越の古い町並みを観光しながら、着物を着て歩く  
ことは、新しいアトラクションになる。
- ・若者の滞在時間をアップさせる。



### 地域志向教育研究：「学生によるフィールドワークが地域の 観光活性化に及ぼす効果に関する基礎的研究」

- ・川越の街並み紹介と地域住民のインタビュー記事に特  
化した観光ガイドブック『小江戸物語（川越編）』及び、  
川越の観光PR映像『小江戸物語』を作成した。
- ・メディア・ミックス的な展開を企図した小江戸川越を  
学生目線で取り上げた観光メディアの制作を実践した。
- ・冊子（写真左）と映像（写真右）がリンクする。



指導：小室広佐子先生(国際関係学部) 天野景太先生(大阪市立大学文学部)

### 参加学生のコメント

人間社会学部1年  
**勝俣 徹哉 くん**

私はCPWを通じて地域活性化とはなにかと考えまし  
た。ひとえにどの地域も同じ活性化の仕方ではなく、  
その町や村によって異なります。そのためその地域にはなにをアピールし  
たらいいのかをグループで考え、最善の方法を模索します。授業の仲間か  
ら拍手や褒めの言葉をかけられると、苦勞も吹き飛び、達成感に満ちあふ  
れます。CPWは、幅広い考えや思考を養え、地域活性化の重要性を再認  
識させてくれます。今後も学び通していくことで、地域活性化の意義を見  
出していきたいです。